

関  
東

NATIONAL  
AGRICULTURAL  
NEWS

新聞

全国農業

2021年(令和3年)

5月28日 金曜日  
月4回金曜日発行

## 果樹産地化へ幅広い活動

農業振興コーディネーター活躍中

都留市



【山梨】県東部の富士北麓に位置する都留市は、地域の約9割が山岳丘陵で農業には厳しい土地柄だ。しかし、2016年に「道の駅つる」農産物直売所がオ

正事務局次長

ープンしてからは、自給的農家や新規就農者の農業生産が盛り上がっている。

道の駅つるはリニア中央新幹線見学センターに近く地場産野菜や豚肉などの直売とレストランが好評で、地元農家が競い合って出荷している。そうしたなか、市産業課と農業委員会は直売所の新品目として、同市では栽培が少なかった果樹に着目し、農家とともに栽培に取り組み始めている。

ここで活躍しているのが農業振興コーディネーターの西野孝さん。都留市出身で、県の農業技術職員としての経験を活かし、この地に適した果樹品目の選定や普及センターと連携した栽培技術の普及・定着、農業委員との連携で果樹栽培に適した農地の所有者と栽培希望者を仲介するなど、幅広い活動を行っている。

西野さんは「富士山の景観など地域資源や立地条件を生かしながら、関係者の力を結集して生産者を増やし、グループ化を進めて新たな産地を育てていきたい」と意気込みを語った。